

トレッサ横浜にて自衛官募集相談会を実施

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 山内哲也2等陸佐）は、7月18日（金）から20日（日）までの3日間、横浜市港北区の大型複合商業施設「トレッサ横浜」南棟2階において、自衛官募集相談会を実施した。

この期間は海の日を含む三連休で、家族連れを中心に多くの来場者で賑わった。会場に設置した広報ブースでは、自衛隊への入隊・入校に興味を持つ方やその保護者に向けた相談コーナーのほか、実際に使用されている装具類・背囊（はいのう）の展示、自衛隊の活動を紹介する写真パネルの展示、クイズやアンケートに答えて挑戦できるガチャイベントなど、多彩な企画を展開した。また、神奈川地方協力本部のマスクットキャラクター「はまちゃん」も登場し、来場者との交流を通じて広報活動を盛り上げた。

3日間を通じて、子供連れの家族を中心に約300名が来場し、幅広い世代の地域住民に自衛隊の活動への理解を深めてもらうことができた。「自衛隊の学校を詳しく知ることができた」「背囊が機能的で使いやすいそう」「家族で災害への備えを考える良い機会になった」などの声も寄せられた。

横浜出張所は、「これからも地域とのつながりを大切にし、自衛隊の魅力の発信と志願者の獲得に努めていく」としている。



航空自衛隊パイロット、母校終業式で講話

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 市川直人2等空尉）は、7月23日（水）、神奈川県立新栄高等学校の終業式に参加し、航空自衛隊の現役パイロットによる講話を実施した。

講話を行ったのは、平成31年に同校を卒業し、現在は航空教育集団司令部教育2課に所属する飛行幹部候補生・鈴木陸矢曹長。鈴木曹長は、広報活動支援のため市ヶ尾募集案内所に臨時勤務しており、その縁から今回の講話が実現した。

終業式はオンライン形式で実施され、鈴木曹長は会議室から全校生徒約一千人に向けて、自身の高校生活や航空自衛隊の任務、パイロットの仕事について語った。「高校3年間で得たことが今の自分の基盤になっている」と述べ、生徒たちにエールを送った。

講話は事前告知なしで行われ、冒頭には戦闘機の映像が電子黒板に映し出されるサプライズ演出もあり生徒の注目を集めた。夏休みを前に進路を考える時期と重なったこともあり、多くの生徒が真剣な表情で耳を傾けていた。

放課後には、「卒業生がパイロットになったなんてすごい」「パイロットの話聞くのは初めてで面白かった」といった感想が寄せられた。鈴木曹長は「母校からパイロットを目指す生徒が出てくれたらうれしい」と期待を語り、「自分も夏休みを取りたくありません」と笑顔を見せた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も学校と連携しながら、自衛隊の魅力を伝え、進路選択の一助となるように努めていく」としている。

